

# 岡山県クラスター対策班（OCIT）



## 【社会的背景】

2020年3月の岡山県での新型コロナウイルス感染者の発生を受け、岡山県から「新型コロナウイルス感染症疫学調査強化事業」を委託され、県内の感染予防体制の強化を図ってきた。10月以降、今後のクラスター発生を見据え、岡山大学を事務局とし「岡山県クラスター対策班（OCIT）」を設立。

## 【活動の目的・概要】

当初の構成メンバーは、岡山県内の大学・医療機関に所属する『感染管理医師』、『感染管理認定看護師』、『疫学専門家』。このメンバーで研修事業・実施指導などの感染予防事業と保健所支援や解析などのクラスター発生時対応を行ってきた。現在は、医療機関のひっ迫により現地介護施設等で医療を提供する『現地医療部門』を稼働、また高齢者や認知症を持つ新型コロナウイルス感染症患者の増加を受け精神的介入を行う『精神科医療部門』を設立し、活動を拡大中。

## 【今後の計画と期待される成果】

今後の県内での発生予防・クラスター対策・医療機関逼迫防止を目指すとともに、将来起こりうる新興感染症対策への県内での横のネットワーク設立を目指す。

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 頼藤 貴志

